

活性汚泥連続試験装置

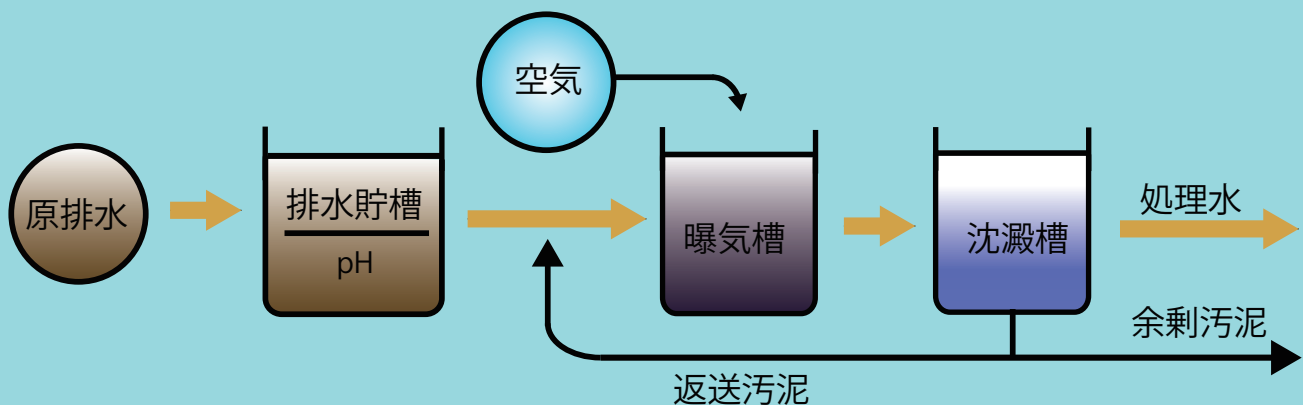
AS-TREATER



用途

■活性汚泥法

廃水中の有機性汚濁物質を分解、除去するために、好気性微生物と混合して曝気を行います。処理された水から沈殿分離した活性汚泥は、必要量を曝気槽に返送し、残余の活性汚泥は余剰汚泥として処理されます。



特 長

- 標準活性汚泥法による廃水処理施設の設計、管理用データが作成できるように、曝気槽、沈澱槽、原水ポンプ、曝気ポンプ、汚泥返送機構、液温自動調節器が全てセットされています。
- 曝気槽、沈澱槽は硬質透明塩化ビ製で、容易に内部を観察でき、耐久性に富んでいます。
- AS型は、曝気槽に沈降部を設けた構造です。ASS-P型は、曝気槽と沈澱槽を分離し、チューブで接続されています。ASS-PS型は、ASS-P型にオプションとして、pH調節やDO計測、ORP計測、記録などの機能を組み込んだ製品です。
- 原水ポンプは、スラリー、繊維質を含む液でも閉塞を生じないチューブポンプを使用しています。注入量を自由に変更できるので、最適の滞留時間を選べます。
- 曝気用として、曝気ポンプを内蔵しています。散気管にはパイプに小孔をあけたものを用いています。清掃のため簡単に取外すことができます。送気量は流量計で確認しながらバルブで調節できます。
- AS型では、汚泥は自重で曝気槽に戻るため、汚泥濃度の調節は、適宜汚泥を抜くことにより行います。ASS-P型では、沈降汚泥をチューブポンプにより曝気槽へ返送します。汚泥返送比は、原水量に対する返送汚泥の容積を(%)で示します。
- 汚泥返送のチューブポンプは、定量性に優れ、フロックを破砕することもなく安定した汚泥返送ができます。
- 曝気槽の液温調節は、デジタル式温度調節器によりパイプヒーターをON-OFF制御することにより一定温度を維持します。過昇温度防止回路付きです。
- 標準仕様以外の特別仕様についても検討させていただきますので、是非御相談下さい。

仕 様

	外 寸 法 W×D×H (cm)	曝 気 槽 (ℓ)	沈 澱 槽 (ℓ)	原水ポンプ (mℓ/min)	曝気ポンプ (ℓ/min)	汚 泥 返 送 (%)
AS-5	90×35×150	5	2	1~90	1~5	自 重
AS-10	90×35×150	10	2.5	1~90	1~10	
ASS-5P	88×30×100	5	2	1~90	1~5	チューブポンプ MAX200%
ASS-10P	88×30×100	10	2.5	1~90	1~10	
ASS-20P	100×45×120	20	5	1~90	2~20	
ASS-10PS	90×35×150	10	2.5	1~90	1~10	チューブポンプ MAX200%
ASS-20PS	90×35×150	20	5	1~90	2~20	

● 仕様・材質等は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

 **株式会社 大同工業所**

Web ■ <http://www.daido-ind.co.jp>

■ 大 阪 / 〒577-0006 大阪府東大阪市楠根1丁目6番45号
TEL 03-6715-8232 FAX 03-6715-8238

■ 東 京 / 〒144-0045 東京都大田区南六郷2丁目20番11号
TEL 03-6715-8232 FAX 03-6715-8238

■代理店